

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公表番号】特表2012-500131(P2012-500131A)

【公表日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-523138(P2011-523138)

【国際特許分類】

B 2 9 B 9/06 (2006.01)

【F I】

B 2 9 B 9/06

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月7日(2012.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロセス溶融物がそれを通して射出されて、移動する切断アセンブリによってペレットに切断されるべき紐になって切断面に出てくる複数の射出開口を含む、ペレタイザ用の断熱された射出ダイブレードアセンブリであって、

(a) その下流側面の中央部に切欠きが設けられて、前記下流側面の中央に位置する凹部またはキャビティを形成するダイブレード本体と、

(b) 前記切欠きの中の、それを通して前記射出開口が延伸する少なくとも 1 つの射出開口延長部のリングと、

(c) 前記切欠きの上に適合する大きさであり、前記射出開口と結合する開口を有し、それにより前記切断面を形成するカバープレートであって、前記ダイブレード本体に前記切欠きの上で取り付けられたカバープレートと、

(d) 少なくとも 1 つの通気管であって、該通気管の中での空気の膨張および収縮によって前記空気チャンバの温度および／または圧力の変化を平衡させる通気管と、を有し、前記カバープレートおよび前記切欠きは、前記アセンブリの中に、前記切断面に隣接し、前記開口延長部を取り囲み、断熱する、中央に配置された空気チャンバを形成して画定する、アセンブリ。

【請求項 2】

前記ダイブレード本体は、電気抵抗、誘導、蒸気および熱伝達流体の少なくとも 1 つによって温度調節された一体構造である、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記ダイブレード本体は、取り外し可能な挿入部と、電気抵抗、誘導、蒸気および熱伝達流体の少なくとも 1 つによって温度調節されたダイブレード外側リングとを含む 2 分割構造である、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記取り外し可能な挿入部および前記ダイブレード外側リングは、電気抵抗、誘導、蒸気および熱伝達流体の少なくとも 1 つによって独立して温度調節される、請求項 3 に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記切断面は、それを通して複数の射出開口が貫通する隆起した環状の平面と、前記隆

起した環状の平面の両側の下の周辺面とであり、前記隆起した環状の平面は、前記下の周辺面よりも少なくとも約0.025ミリメートル高い、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項6】

請求項1に記載のダイブプレートアセンブリを有するペレタイザ。

【請求項7】

前記ペレタイザは、水中ペレタイザである、請求項6に記載のペレタイザ。

【請求項8】

前記切断面は、窒化、炭窒化、電気めっき、無電解めっき、無電解ニッケル分散処理、高速フレイム溶射を含むフレイム溶射、熱溶射、プラズマ処理、電解プラズマ処理、焼結、粉体塗装、真空蒸着、化学蒸着、物理蒸着、スパッタリング技術、および、噴霧塗装の少なくとも1つを含む表面処理が施されている、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項9】

前記カバープレートは、前記射出開口延長部の形状に合致し、前記断熱する空気チャンバをさらに画定する対向穴を有し、前記射出開口延長部は、前記ダイブプレート本外と連続且つ一体の隆起した円形の凸部を形成するように構成され、個々の開口突起が、前記隆起した凸部から前記カバープレートまで延伸し、前記隆起した円形の凸部は、前記開口突起に熱を導くように構成され、前記カバープレートの対向穴は、前記断熱する空気チャンバが前記隆起した円形の凸部の外形に倣うような大きさである、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項10】

前記カバープレートは、両面に、ジグザグで交互の配置で、複数の周辺拡大溝を有する、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項11】

前記カバープレートは、前記カバープレートの前記開口において、前記開口突起の遠位端に溶接して取り付けられている、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項12】

前記開口突起は、群、集団および小群の少なくともいずれかで配置された複数の射出開口が貫通する、請求項9に記載のアセンブリ。

【請求項13】

前記開口突起は、楕円形、円形、正方形、三角形、長方形、五角形、または、それらの組み合わせを含む形状の少なくとも1つであり、同心交互、ジグザグ、直線状、または、それらの組み合わせに配置され、前記切断面の円弧に平行、または、前記円弧に直角であり、腎臓形または曲玉形の形状である、請求項9に記載のアセンブリ。

【請求項14】

プロセス溶融物がそれを通して射出されて、移動する切断アセンブリによってペレットに切断されるべき紐になって切断面に出てくる複数の射出開口を含む、断熱された射出ダイブプレートアセンブリを有するペレタイザであって、

前記ダイブプレートアセンブリは、

(a) その下流側面の一部に切欠きが設けられて、前記下流側面の中央に位置する凹部またはキャビティを形成して画定するダイブプレート本体と、

(b) 前記切欠の上に固定されたカバープレートと、

(c) それを通してプロセス溶融物が前記ダイブプレート本体から前記切断面を形成する前記カバープレートの開口まで搬送される、前記射出開口を取り囲む少なくとも1つの射出開口延長部のリングと、を有し、

前記射出開口延長部は、前記ダイブプレート本体と連続且つ一体の隆起した円形の凸部として形成され、個々の開口突起が、前記隆起した凸部から延伸し、前記カバープレートの開口に隣接して前記カバープレートに溶接されている、ペレタイザ。

【請求項15】

前記断熱するチャンバは、前記ダイブプレートアセンブリの外側の雰囲気と平衡するように通気されている、請求項14に記載のペレタイザおよびダイブプレートアセンブリ。

【請求項 16】

前記切断面を含む前記カバープレートの外表面は、少なくとも1つの、そこに施した耐化学、耐腐食、耐剥離または耐摩耗表面処理を含む、請求項14に記載のペレタイザおよびダイプレートアセンブリ。

【請求項 17】

前記ペレタイザは、水中ペレタイザである、請求項14に記載のペレタイザおよびダイプレートアセンブリ。

【請求項 18】

前記隆起した円形の凸部は、前記開口突起に熱を導くように構成され、前記カバープレートは、前記射出開口突起の形状に合致し、前記断熱するチャンバが前記隆起した円形の凸部の外形に倣うような大きさになる対向穴を有する、請求項14に記載のペレタイザおよびダイプレートアセンブリ。

【請求項 19】

前記カバープレートおよび前記開口突起は、そこで、前記開口突起が、前記カバープレートの開口に隣接する前記カバープレートに溶接される相補的な当接面を含む、請求項14に記載のペレタイザおよびダイプレートアセンブリ。